

令和4年9月2日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園  
園長 東海林 肇

## 園長だより「かけはし」

8月に入り、前半は暑い日が続いたり、線状降水帯が発生したりして、被害も出たりしました。また、後半はすっきりしない不安定な日が続きました。そんな中、外壁塗装のため夏休み中足場が組まれました。暑い中工事の方々は一生涯懸命作業を行っていましたが2園期以降も工事は続くようです。

さて、いよいよ2園期がスタートしました。

9月になり、少しは暑さも和らいでくるように思いますが、まだまだ油断はできません。外出の際には、帽子やハンカチ、水筒など、暑さ対策を忘れないようにしましょう。また、この時期は、夏の疲れが出てきます。夏の疲れ回復のために、一つめは、生活のリズム（早寝、早起き）をつくること。

二つめは、一日の始まりの朝食を大切にすることです。忙しい時はつついパンやジュースのみ…となりがちですが、おかずもしっかりと摂るように心がけたいです。2園期は、運動会や秋の遠足、おゆうぎ会など楽しい行事がたくさんあります。子どもたちには、けがや病気をすることなく、元気いっぱい体を動かして、楽しい園生活を送ってほしいと思います。そのためにも早寝・早起き・朝ご飯をいつも心がけていただければと思います。

### 物を大切に扱う事

夏休みの間に使えなくなったもの、壊れてしまったものなど長期の休みを使い処分を試みたご家庭も多いかと思います。使い切って壊れてしまったものは捨てるほかありませんが、まだまだ使えるけど新しいものについ手を伸ばす場合もあります。ですが、使い込んだものは人の手に馴染み、美しさや味わいが出て愛着が出てくる場合もあります。動いているなら使えるならもう一度トライするのもありかと思います。ものを大切にするという心は、人を大切にするという心につながるとされ、自分の持ち物に愛着をもって丁寧に扱える人は、物の本質をわかっています。そういう人は人への関わり方も丁寧だったり、人への気遣いもできたり優しい人です。優しい人は、周りの方から好感を持たれます。そして優しい人の周りには、自然と人が集まります。また、可愛がられた人は、人を可愛がり、愛された人は人を愛するようになります。特に幼児期の子どもの健やかな成長には、親の無償の愛ほど大切なものないと言われます。親からの愛情をたっぷり受けた子どもたちは、その中で、ものを大切にすることを学び、人の心を大切にすること友達思いの子どもに育っていくはずですよ。

「物を大切にすること」と「優しい人」、それぞれ無関係に思えますが、実は深い繋がりがあ

